

履修方法について（修士課程）

テキスト履修(略号:T)

指定されたテキストをもとに自宅で学習し、レポートを提出して添削指導を受け、その後に科目最終試験(在宅試験)を提出します。合格すれば履修完了となり年度末に修得単位として認定されます。

スクーリング履修(略号:S)

指定された日時に大学の教室で教員から直接授業を受けます。科目ごとに定められた受講時間(時間割)すべてに出席し、終了後に実施されるレポート試験または教室試験に合格すれば履修完了となり、年度末に修得単位として認定されます。専攻によって日程や時間割、修得できる単位数が異なります。

テキスト・スクーリング履修(略号:T・S)

テキスト履修(T)とスクーリング履修(S)を併用する履修形態です。レポート、科目最終試験(在宅試験)、スクーリングすべてに合格しなければなりません。T履修とS履修は、どちらを先に履修してもかまいません。

※臨床心理学専攻のみの履修です。

スクーリング・テキスト履修(略号:ST)

指定された日時に大学の教室で教員から直接授業を受けます。科目ごとに定められた受講時間(時間割)すべてに出席し、そこで指示された課題についてテキストなどで学習を深め、後日レポートを作成し、期限までに提出します。

修士論文・課題研究(略号:G)

指導教員による個別指導と修士論文中間発表会や合同授業における複数教員による集団指導を受けながら論文を作成します。

実習(略号:E)

配属実習のことです。

※臨床心理学専攻のみの履修です。詳細はpp.30～31を確認してください。

テキスト履修のイメージ

テキストによる学習

テキストや参考文献を通して学習します。

ポータルサイト(B-net)を利用してレポートの提出と、科目最終試験答案の提出を行います。

レポート作成・提出

テキスト履修(T)の科目はそれぞれ設題が設けられています。その設題に基づいて研究の成果をレポートにまとめます。レポートの字数は、2単位で6,400字となります。完成したレポートは毎月、所定の受付期間に大学へ提出し、担当教員の添削指導を受けます。

科目最終試験受験

全ての設題分のレポートが合格すれば科目最終試験を受験します。試験方法は在宅での論述試験です。合格したレポートの返却時に、レポート作成による学習をさらに発展させた試験問題が与えられ、1科目につき3,200字程度にまとめて提出(随時提出が可能)、評価を受けます。科目最終試験は100点満点中60点以上が合格、59点以下は再受験となります。

単位認定

所定の履修期限までに合格することで当該年度の履修完了科目となります(3月25日付単位認定)。

スクーリング履修のイメージ

受講申込み

各科目ごとの年間開講日程を確認し、自らの学習計画に合わせて受講する科目を選択、受講の申込みをします。

ポータルサイト(B-net)を利用してスクーリングの受講申込み等を行います。

事前学習

スクーリングを受講するまでに、担当教員から事前学習の指示があります。その指示にしたがって受講の準備(予習等)を行います。

スクーリング受講

各科目ごとに定められた日程・受講時間に出席します。講義は通常大学にて行われますが、専攻によっては教室での講義にとどまらず、学外での実地講義等も行われます。最終講時に筆記試験または帰宅後テキスト等で学習を深め、提出するレポート試験が行われ、100点満点中60点以上が合格、59点以下は再受講となります。

単位認定

合格した科目は、当該年度の履修完了科目となります(3月25日付単位認定)。

《参考》スクーリング開講科目・日程一覧(2018年度)

2018年度のスクーリング履修科目(S履修・T・S履修・ST履修)の開講日程を参考に掲載します。開講時期や受講日数等の目安として参照してください。なお、2019年度の開講日程は未定です。入学後、補助教材等でご案内します。

仏教学専攻

科目名	日程	修了にかかるスクーリング受講日数(目安)
仏教学研究基礎1	6月2日,3日	15日程度 受講が必要
仏教学研究基礎2	5月26日,27日	
仏教学研究基礎3	6月9日,10日	
法然教学演習1	8月7日,8日,9日	
法然教学演習2	10月6日,7日,8日	
浄土教学演習1	6月23日,24日,30日,7月1日	
浄土教学演習2	7月29日,30日,31日	
仏教学演習1	6月2日,3日,9日,10日	
仏教学演習2	7月31日,8月1日,2日	
仏教学演習3	7月28日,29日,30日	
仏教学演習4	8月3日,4日,5日	
仏教文化演習1	6月23日,24日,30日,7月1日	
仏教文化演習2	7月21日,22日,23日	
仏教文化演習3	8月3日,4日,5日	
仏教文化演習4	8月10日,11日,12日	
仏教学特論1	9月6日,7日,8日	
仏教学特論2	9月10日,12日,13日	

文学専攻

科目名	日程	修了にかかるスクーリング受講日数(目安)
日本文学研究基礎	6月23日,24日	10日程度 受講が必要
日本文学演習1	7月23日,28日,29日	
日本文学演習2	7月21日,8月6日,7日	
日本文学演習3	5月27日,6月30日,7月1日	
日本文学演習4	10月6日,11月10日	
日本語学演習	7月30日,31日	
書道研究	8月1日,2日	
漢文学研究	8月8日,9日,10日	
日本文学研究	8月4日,11日,12日	
中国文学研究基礎	6月30日,7月1日	
中国文学演習1	7月22日,23日	
中国文学演習2	7月31日,8月1日	
中国文学演習3	8月5日,6日	
中国語学演習	8月2日,3日	
中国思想演習	8月3日,4日	
異文化接触研究(中国)	7月30日,31日	
英米文学研究基礎	6月30日,7月1日	10日程度 受講が必要
英米文学演習1	7月28日,29日	
英米文学演習2	8月1日,2日	
英語学演習1	8月1日,2日	
英語学演習2	8月4日,5日	
異文化接触研究(英米)	7月28日,29日	
英米文学研究	8月7日,8日	

歴史学専攻

科目名	日程	修了にかかるスクーリング受講日数(目安)
歴史学研究基礎1	5月26日,27日	10日程度 受講が必要
歴史学史料演習1	8月2日,3日,4日	
歴史学史料演習2	8月9日,10日,11日	
歴史学特殊研究3	9月3日,4日,5日	
歴史文化資料演習1	7月21日,22日,23日	
歴史文化資料演習2	8月6日,7日,8日	
歴史文化特殊研究3	9月6日,7日,8日	
歴史学フィールドワーク	11月3日,4日	
外国語文献研究	6月9日,10日	
歴史情報資源論	10月6日,7日	

生涯教育専攻

科目名	日程	修了にかかるスクーリング受講日数(目安)
教育人間学演習	10月6日,7日,8日	9日程度 受講が必要
比較教育学演習	8月2日,3日,4日	
	11月3日,4日,17日,18日	
教育制度学演習	7月30日,31日,8月1日	
教育方法学演習	8月10日,11日,12日	
仏教教育学演習	5月27日,6月2日,3日	

臨床心理学専攻

科目名	日程	修了にかかる スクーリング 受講日数(目安)
臨床心理学特論 1	5月26日	16日程度 受講が必要 ※2018年度参考
臨床心理学特論 2	11月4日	
臨床心理面接特論 1	6月2日	
臨床心理面接特論 2	11月3日	
臨床心理査定演習 1 (心理的アセスメントに関する理論と実践)	7月30日,31日,8月1日	
臨床心理査定演習 2	8月16日,17日,18日	
臨床心理査定演習 3	8月2日,3日,4日	
臨床心理査定演習 4	8月8日,9日,10日	
臨床心理基礎実習 1	年次開講のため、 2018年度開講なし	
臨床心理基礎実習 2		
臨床心理実習 3		
心理実践演習 (GSV)		
心理統計法特論		
家族臨床心理学特論 (家族関係・集団・地域社会における 心理支援に関する理論と実践)		
学校臨床心理学特論 2		
心理療法特論 2		
心理療法特論 1 (心理支援に関する理論と実践)	5月26日	
心の健康教育に関する理論と実践	6月10日,16日,17日	

社会学専攻

科目名	日程	修了にかかるスクーリング受講日数(目安)
社会学理論研究	5月26日,27日	8日程度 受講が必要
社会学演習1(社会文化)	6月30日,7月1日	
社会学演習2(社会情報)	10月6日,7日	
社会学演習3(共生臨床)	7月21日,22日	
社会学演習4(社会理論)	6月23日,24日	
社会調査論	11月3日,4日	
ソーシャルマネジメント理論研究	6月2日,3日	
ソーシャルマネジメント演習1(環境)	6月9日,10日	
ソーシャルマネジメント演習2(環境)	6月16日,17日	
ソーシャルマネジメント演習3(地域)	7月28日,29日	
ソーシャルマネジメント演習4(地域)	8月4日,5日	
地域公共政策論	5月19日,20日,7月7日	
地域公共政策演習1	7月8日,15日,16日	
地域公共政策演習2	10月13日,14日,20日	
地域公共政策演習3	10月21日,11月3日,4日	

社会福祉学専攻

科目名	日程	修了にかかるスクーリング受講日数(目安)
共生とケアⅠ	8月2日,3日	16日程度 受講が必要
共生とケアⅡ	8月3日,4日	
乳幼児保育特殊研究	6月30日,7月1日	
児童福祉特殊演習	6月16日,17日	
障害者福祉特殊研究	7月22日,23日	
障害者福祉特殊演習	7月21日,22日	
高齢者福祉特殊研究	11月4日,10日	
高齢者福祉特殊演習	11月3日,4日	
精神保健福祉特殊研究	7月30日,31日	
精神保健福祉特殊演習	7月31日,8月1日	
地域福祉特殊演習	11月17日,18日	
医療福祉特殊研究	10月6日,7日	
現代社会福祉問題特殊研究	8月10日,11日	
社会福祉学研究基礎Ⅰ	5月26日,27日,6月2日,3日	
児童福祉特殊研究	8月6日,7日	
地域福祉特殊研究	7月28日,29日	
乳幼児保育特殊演習	6月23日,24日	16日程度 受講が必要
医療福祉特殊演習	10月7日,8日	
福祉の国際比較	8月7日,8日	

修士論文・課題研究(略号:「G」)

研究から提出まで2か年をもって取り組みます。広い視野に立つ精深な学識と、その専攻分野において有する高度な研究能力を立証することが要求されます。なお、本学大学院では「修士論文」「課題研究」は単位化せず、所定の修了単位とは別に課します。

修士論文・課題研究作成のイメージ

研究テーマの提出と指導教員の決定

所定の時期(入学手続き時に指示)に、各々の研究対象や課題に則して「研究テーマ」を作成し、提出します。提出された「研究テーマ」に基づき指導教員が決定します。

「研究計画書」の作成・提出

指導教員が決まると、その指導のもと、より具体的な「研究計画書」の作成にかかります。作成には、指導教員との面接指導のやり取りが重要となります。

ポータルサイト(B-net)を利用して面接指導の申込みや「研究計画書」、「草稿」等の提出を行うことが可能です。

「研究計画書」に基づき個人研究

テキスト履修、スクーリング履修を通じて研究内容に沿った学習やその周辺領域の学習を重ね、専門性を高めていきます。スクーリングの受講は、他の学生同士の人的交流・情報交換の場として、学習意欲を高める絶好の機会となります。また、スクーリングの機会を活用し、指導教員に面接指導を申込むこともできます。研究が進むと、中間発表会等に参加し、研究成果の一部を発表する機会があります。ここでは各自の研究内容に対して、専攻の教員や他の学生から意見交換、質疑応答等を行います。周辺領域の分野から積極的な提案、提起を行うことは、在宅での研究に閉鎖的、孤立的、自己偏重になりがちな各個人の研究活動を、広い視野から見つめ直し、新たな方向性を発見したり、共同研究や学術論文への投稿につながる契機となることでしょう。



「草稿」の作成・提出

「研究計画書」に基づく個人研究が進み、論文題目を完了すると、「草稿」の作成にとりかかります。「草稿」は清書論文を想定した内容・分量となりますが、常時大学に通学できない通信教育課程の学生にとっては、「草稿」を作成・提出→指導教員による添削・面接指導→「草稿」の再提出…といった過程を経ることで、質的に高い論文完成への下地となります。特に精度の高い論文を書き上げるためには、指導教員との面接指導が重要となります。



「修士論文」作成・提出

「草稿」を提出し、「修士論文・課題研究」としての内容が認められ、かつ修了要件となる所定の単位を修得する見込みがある場合は、清書の許可が与えられます。「修士論文・課題研究」の分量は40,000字程度が基準となりますが、専攻ならびに指導教員の判断によりその内容が増減する場合もあります。また、論文と共に、補助資料並びに今後の当該論文の検索の便を図るために、1,000字程度の「論文要旨」の添付が義務付けられます。



口頭試問

「修士論文・課題研究」を所定の期日までに提出できれば、口頭試問を実施します。口頭試問での修士論文・課題研究の審査は、指導教員を含めた3名の審査員が行います。

他専攻聴講について

他専攻聴講とは、各自が所属する専攻以外の専攻で開講される科目を登録し履修できる制度です。各専門分野の隣接領域の科目を履修することにより、幅広い視点での研究を可能としています。

他専攻聴講が可能な専攻は、生涯教育専攻・社会学専攻・社会福祉学専攻のみです。

※社会福祉学専攻は他専攻聴講により単位を修得しても
修了単位として算入することはできません。

※各研究科・専攻にて指定される科目で論文指導教員が承認し、かつ科目の担当教員が履修を許可した科目に限ります。

※別途、登録費等が必要となります。詳細は入学後『大学院のしおり』でご案内します。



学部聴講について

学部聴講とは、学習性向や教育課程の多様化のなかで、各専門分野の隣接領域の基礎科目等を履修することにより、専門分野研究の補完等を目的として設けている制度で、全専攻履修可能です。

※基礎となる学部・学科が開講する共通教育科目・専門教育科目で論文指導教員が承認した科目に限ります。

※別途、登録費等が必要となります。詳細は入学後『大学院のしおり』でご案内します。



通学課程開講科目の履修について

在籍する専攻と同じ通学課程の専攻で開講する科目を登録し履修することができる制度です。

通学課程大学院開講科目の履修が可能な専攻は、仏教学専攻・文学専攻・歴史学専攻・社会学専攻のみです。

※登録は、年間4単位を上限とし、修得した単位は、関連科目として6単位を上限に修了単位として算入することができます。

※各研究科・専攻で指定される科目に限ります。

※別途、登録費が必要となります。詳細は入学後『大学院のしおり』でご案内します。

